

清瀬の学校探訪 清瀬第四中学校

☎教育指導課 ☎042-492-5111 (代表) 野塩3-2-3

教育目標

創造・温情・実践・健康

特色ある教育活動

- 夢や志・目標をもち自分で「考動」する主体性ある生徒の育成
 - ・総合的な学習の時間を核に、SDGsを根底に据え、経験や体験を重視した3年間積上げ式となる教育の実践
 - ・確かな学力の定着・向上を図るために、「主体的・対話的で深い学び」の授業及び朝学習・朝読書の計画的な実施
 - ・生徒会を中心としたボランティア活動など、生徒が主体となる活動の意図的・計画的な実施

○特別支援教育の充実
不登校や教室での生活になじめないなどの生徒に寄り添い支援するため日本社会事業大学と連携したステップタイム(校内フリースクール)の設置、居心地の良い居場所作りの推進

○生命尊重教育の推進
「命の授業講演会」、道徳授業、SOSの出し方教育、地域人材を活用した赤ちゃんのチカラプロジェクト・認知症サポーター養成講座、救急救命講習、がん教育など



生徒会の御殿山緑地保全活動 (SDGsの取り組み) | 運動会 (主体性ある生徒の育成) | 赤ちゃんのチカラプロジェクト (生命尊重教育)

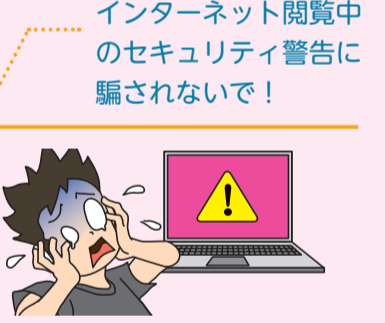
◆身に付けさせたい五つの力の現状
全国学力・学習状況調査の調査項目のうち、本市が、身に付けさせたい①～⑤の五つの力に該当する項目を抽出し、それぞれの達成状況をまとめました

教科に関する調査		四中 都 全国 (平均正答率)		
		①生きて働く知識・技能	国語 66%	70%
	数学 52%	62%	60%	
②未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力	国語 58%	64%	62%	
	数学 26%	40%	36%	
意識調査(「はい」と回答した割合)				
③学び続ける力(自分でやると決めたことはやり遂げようとしていますか)		86%	85%	87%
④清瀬を誇る気持ち(地域や社会をよくするために何をすべきか考えますか)		45%	39%	41%
⑤生命尊重(いじめはどのような理由があってもいけないと思いますか)		93%	95%	96%

消費生活相談の現場から

【事例】パソコン利用中に突然「ウイルスが検出されました」という警告画面が現れ、けたたましい音が鳴り響いた。慌てて表示された大手ソフトウェア会社のサポート窓口で電話をかけると、片言の日本語を話すオペレーターが出て「このパソコンはウイルスに感染している。復旧するにはサポート料として電子マネー2万円分を購入する必要があります。このまま電話を切らずにコンビニに行くように」と指示された。言われるままにコンビニに行き、電子マネーを購入し、そこに記載されている番号を相手に伝えると「あなたが間違った番号を伝えたのでエラーになった。もう一度同額の電子マネーを購入するように」と言われ、再度購入させられた。その後も同じ理由で繰り返し購入させられ、最終的に8万円分の電子マネーを購入し、すべて番号を伝えてしまった。

【アドバイス】これはインターネット閲覧中に偽のセキュリティ警告を表示し、焦燥感をあおって電話をかけさせ、有償サポートの料金を支払わせるサポ-



インターネット閲覧中のセキュリティ警告に騙されないで!
ト詐欺です。この警告画面は実は偽物で、実際にパソコンがウイルスに感染しているわけではありません。偽警告の特徴は①警告画面が次々と現れる②警告音や警告アナウンスが大音量で流れる③実在する企業やサービスのロゴが表示される④サポート窓口の電話番号が表示される⑤「この警告を無視するとパソコン内の情報が失われる」といった不安をあおる表示などです。電子マネーの番号を知らせるということは、購入金額と同額のお金を相手に送金することと同じで、取り戻すことは困難です。上記の特徴に当てはまる警告は偽警告の可能性が高いので、決して電話をかけないようにしましょう。お困りの際は、消費生活センターにご相談ください。☎消費生活センター ☎042-495-6212 (相談専用) ※つながらない場合は☎042-495-6211へ

- ◆今後の取り組み
- 国語・数学：全教科でICT(情報通信技術)を活用した「主体的・対話的で深い学び」の授業実践を目指し、教員の授業力向上に向けた授業改善への取組を継続・強化する。学期末に生徒による授業評価を行い教員の授業力の見える化を図り授業力の向上につなげる。朝学習・朝読書を意図的・計画的かつ徹底して行い、基礎的・基本的な学力の定着を図る。
- その他：総合的な学習の時間を核として経験・体験を重視した教育を進め、生徒の心に夢や志を育む。生徒会活動を活性化させ、生徒主体で企画運営するボランティア活動・地域との触れ合いなどを活発化させていく。道徳科を要として、全教育活動を通して「自他の命を大切にすること」「多様性を認め協働する力」「自尊感情・自己有用感」「学び続ける力」などを高める教育を推進する。スクールカウンセラー、臨床心理士等の協力を得て校内特別支援教育推進委員会を充実・活性化させ、生徒理解の向上に努めるとともに、すべての子を対象とした特別支援教育について教職員の理解を深める。また、教室以外の生徒の居場所作りも推進する。

次回は清瀬第五中学校

募集 2023 きよせの環境・川まつり 「いかだコンテスト」参加チーム

【開催日時】7月22日(土)午前11時40分～(午前10時20分までにいかだの搬入が必要) 台田運動公園・柳瀬川河川区域
【募集チーム数】10チーム程度(先着順)
【申し込み】「きよせの環境・川まつりいかだコンテスト参加要領」を確認し、6月19日(消印有効)までに応募フォーム、直接窓口、郵送、メールできよせの環境・川まつり実行委員会事務局 ☎042-497-2099 kkfestival@ikiyose.jpへ



詳しくはこちら

子どもの事故を防止しよう

日常生活のけがにより、年間約1万人の子ども(12歳以下)がさまざまな症状で医療機関へ運ばれています。そのなかでも住宅の窓やベランダから落下する墜落事故が、最近ニュースなどで多く取り上げられています。墜落事故は5歳以下の子どもに多く見られ、ベランダの室外機や、窓際に置かれたソファなどに登って落下するケースが大半を占めています。小さな子どもがいる家庭では、ベランダや窓際を良く確認しましょう。また、乳幼児のやけどや誤飲といった事故も多く発生しています。YouTube「東京消防庁公式チャンネル」もご利用ください。☎清瀬消防署 ☎042-491-0119



YouTube「東京消防庁公式チャンネル」

清瀬と結核 第10話 上宮教会 清瀬療園

一 病院街の形成
上宮教会は、聖徳太子の教えに従って教化事業や社会福祉事業を行なうことを目的に、明治30年に創立された団体です。日暮里に診療所を設けていました。昭和に入り、まん延する結核に対し、上宮教会では、特に療養の途のない患者のために少ない費用で入院治療ができる施設の開設を考えていたところ、宮内省旧帝室林野局建物が民間に明け渡されることになり、施設建設のための土地を、清瀬に求めました。傷痍軍人東京療養所(現・東京病院)西隣の地です。特別ご下賜金のほか、三井報恩会、安田修徳会等々から寄付を受け、上宮教会清瀬療園の建築は昭和14年1月着工、同年12月竣工し、入園者の受入れを始めました。当初の収容定員は64人で、開院から4か月で早くも満床となりました。寄付や結核予防法の補助金により、2年続けて病棟を増築し、昭和16年には142人を収容できる規模になりました。戦後も増床は続き、昭和37年、増改築により173床に、昭和42年には新病院の建築で201床に達しました。開院以来、結核を専門としていましたが、昭和52年に病院名を清瀬上宮病院と改称し、結核病床を100床、一般病床を100床としました。平成に入ってから、結核の他、一般、特例許可老人病棟の床数を変化させながら、現在は、回復期リハビリテーション病棟92床、一般病棟27床に加え、48床の結核病床を維持しています。病院の名称は、平成19年7月、清瀬リハビリテーション病院となりましたが、病院に近いバス停には、かつての病院名にちなむ「上宮」の名が残っています。☎市史編さん室 ☎042-497-1813



上宮教会清瀬療園外観(昭和27年頃か(清瀬リハビリテーション病院提供))